

公 表 日
令和 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度雲仙管内砂防設備点検手法検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 長崎河川国道事務所長 金井 仁志 長崎市宿町316-1
契約年月日	令和 4年 8月29日
契約業者名	アジア航測 (株)
契約業者の住所	長崎県長崎市万才町6-35 (大樹生命長崎ビル)
契約金額	30,228,000円 (税込み)
予定価格	30,228,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	長崎県島原市、南島原市、雲仙市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 4年 8月30日
履行期間 (至)	令和 5年 3月15日
備考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度雲仙管内砂防設備点検手法検討業務
2. 履行場所 島原市、南島原市、雲仙市
3. 契約の相手方 住所：長崎県長崎市万才町6番35号
会社名：アジア航測株式会社 長崎営業所
電話：095-821-4481
代表者：所長 西野 禎一
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、UAV自律飛行による雲仙管内砂防設備の調査・点検を実施するための有用性や課題を抽出し、実用化に向けた検討を行うことで維持管理の効率化・高度化を図るものである。

- 2) 業務の内容

主な業務内容は下記のとおりである。

- | | |
|--------------------------|----|
| ・計画準備 | 1式 |
| ・資料収集・整理 | 1式 |
| ・現地調査 | 1式 |
| ・UAV調査・点検の飛行計画立案 | 1式 |
| ・UAV自律飛行による実証試験の実施、検証 | 1式 |
| ・UAV自律飛行による砂防設備調査点検実用化検討 | 1式 |
| ・AI等最新技術を活用した変状箇所把握の検討 | 1式 |
| ・報告書作成 | 1式 |

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低35者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する4者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。特に技術提案における「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」、「業務手順」、「その他」における「理解度の優位性」、「実施フロー・工程計画の工夫」、「有益な代替案、重要事項」の記載されていること、及び特定テーマの「雲仙管内においてUAV自律飛行による砂防設備の維持管理手法を検討する上での留意点と工夫について」に対する技術提案について「業務遂行における有効性」、「提案内容の説得力」が総合的に優れていた提案である。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者) 長崎河川国道事務所 砂防課長